学校番号 **66** 明和小学校

全校児童数 15名（男子9名 女子6名）

主体的に運動に取り組む子の育成

「持久力」を高めるために

体力テストの現状と課題

学校全体の体力テストの現状と課題として、

- 高学年の結果より持久力が市平均を大きく下回っている
- 持久力等の向上に向けて、意欲的に運動に取り組むことができる授業づくり

が挙げられる。

上記の現状と課題を踏まえ、持久力の向上を図る取組や、子どもが夢中になって運動に取り組むことができる授業づくりを実践していくことが大切であると考え、マラソン大会や体育科の授業で実践していくことにした。

実施内容

（１）教科体育での実践

れんしゅうカード

年　名前

1日に走る目標（やすみじかんも入れていいよ）　周

27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	1日(金)
周	周	周	下見会	周
やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周
4日(月)	**5日(火)**	**6日(水)**	**7日(木)**	**8日(金)**
しそうかい 分 秒	周	周	周	周
やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周
12日(火)	**13日(水)**	**14日(木)**	**ごうけい**	
周	周	周	周	
やすみじかん 周	やすみじかん 周	やすみじかん 周		

この努力は、きっと君の力になるよ！

マラソン大会の記録　分　秒

1周125m	どこまでいけるかな（明和小から）
5周	五反田の集会所（750m）
9周	昌前寺（1100m）
10周	明川のガソリンスタンド（1200m）
17周	レストラン　紅葉（約2100m）
20周	千田の集会所（約2600m）
24周	上八木の集会所（約3000m）
50周	連谷の集会所（約6600m）
100周	あすけ交流館（約12km）
120周	どんぐりの湯（約15km）
240周	豊田市駅（約30km）

みんなはどこまでいけるかな

【マラソンカード】

１２月に行われるマラソン大会に向けて、２週間のマラソン練習「８分間走」を行った。短時間の帯時間を設定することで集中的かつ継続的に行い、持久力の向上を図った。

また、走った周回数を「マラソンカード」に記録するとともに、周回数によって到達地を示すことで、意欲的に取り組むことができるようにした。少しでも記録を伸ばそうと休み時間にも練習に励む子どもの姿を見ることができた。

【習熟度別での授業の様子】

本校は全校児童数が少なく、人数的にも発達段階的にも各学年で体育科の授業を行うことが難しい。そこで、体育科の授業を全校体制で実施し、学年に関係なく発達段階に応じて習熟度別にグループを分けて授業を行うことにした。基本的に、子どもの技能に応じて三つのグループに分けて実践している。また、適宜編制を変えている。

水泳の授業では、学ぶ内容（指導する内容）が充実し、また、同じ技能の仲間と意欲的に競い合って取り組み、高め合った。はじめは気持ちが乗らなかった子どもも笑顔で臨むようになっていった。自分の技能に合わせたグループで取り組み効率的に学ぶことができ、技能の伸長が大きくなってきている。また、技能が向上することで、意欲的に取り組むことにもつながってきている。

（２）教科外体育での実践

昨年度まで全校遊びを実施し、運動する機会を意図的に設けていたが、今年度は実践することができていない。学校として、授業以外で運動の機会をもつことができるよう次年度以降実践していきたい。

成果と来年度に向けて

マラソン大会では、子ども一人一人が自分の目標を達成するために努力し、大幅に記録を伸ばすことができた。また習熟度別で取り組んだことで、個に合った取組ができるようになり、意欲的に体育の授業に取り組むことができた。人数が少ないことを強みとした今年度の取組に手ごたえを感じている。次年度も継続して行い、子どもが主体的に運動に取り組むことができるよう実践していきたい。